



市立三次中央病院 地域医療連携室だより

2019年10月発行



地域連携予約について

～いつも地域連携予約をご利用いただきありがとうございます～

- (1) 地域医療機関の診療を支援し、患者さまの待ち時間を解消するため、当院ではFAXで事前予約を承っております。患者さまのご紹介予定がございましたら、ぜひ地域連携予約をご利用ください。地域の皆さまに良質な医療を提供するために、ご理解とご協力をお願いいたします。
- (2) ご紹介いただく患者さまにつきましては、当院医師が予め状況を把握し、診察をスムーズに進めるため、診療情報提供書や検査データ等を事前にFAXでお送りいただくようお願いすることがございます。
また、紹介元でされた検査の結果（血液検査、レントゲン、エコー、内視鏡等）をご用意くださると診療の助けになります。恐れ入りますがご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

予約外受診について： 受診を急ぐ必要がある患者さんのご紹介は、救急当番医へ直接ご連絡ください。
連絡先：0824-65-0101（病院代表）

※ 当日の予約はお取りできません。また、入院の予約は受け付けておりません。まずは診察を受けていただきます。

地域連携パスについて

当院では、以下の地域連携パスを運用しています。
各地域連携パスの詳細を裏面に掲載しておりますので、併せてご確認ください。

- 三次地区脳卒中地域連携パス
- 大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折地域連携クリニカルパス
- がん地域連携パス
- 備北地域糖尿病地域連携パス
- 備北地域CKD地域連携パス
- 呼吸器疾患（COPD・肺線維症）パス

なお、糖尿病、CKD、COPDパスの受診予約は地域医療連携室で承ります。
対象患者さまがおられましたら、ご紹介よろしくお願いいたします。



リウマチ・膠原病科、血液内科、放射線治療科について

<外来日> リウマチ・膠原病科：火曜日（第2火曜日を除く）、木曜日
血液内科：毎週水曜日、金曜日午後

※ なお、医師不在により外来日が振替になる場合がございますので、ご了承ください。

<受診方法> 完全予約制です。ご紹介患者さまの受診予約は地域医療連携室で承ります。
空き状況については地域医療連携室へお問い合わせください。

**放射線治療科については、疾患の主科へ受診予約をご依頼ください。
担当医より院内紹介で対応させていただきます。**



地域連携パスのご紹介

当院で運用している地域連携パスをご紹介します。今回は三次地区脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折地域連携クリニカルパス、がん地域連携パスについてです。

●三次地区脳卒中地域連携パス●

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血で入院された方を対象に、急性期・回復期・維持期を地域の連携医療機関が担当し、切れ目のない治療を提供するための連携ツールです。当院では2010年度より運用を開始しました。昨年は43人においてパスの運用を行っています。

回復期担当は三次地区医療センター、ビハーラ花の里病院で、その後の維持期担当は市内のかかりつけ医21医療機関です。

当院で障害の程度や課題を記載した計画書を作成し、回復期病院へ転院していただき、集中的なりハビリを行います。回復期の経過を記載した計画書を維持期担当のかかりつけ医へ渡すことで、発症から安定した日常を取り戻されている方もあります。

【過去3年間の実績】

・パス適用 2016年度：21名 2017年度：49名 2018年度：37名

●大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折地域連携クリニカルパス●

高齢者の方が多い大腿骨骨折においては、職種間・施設間の情報交換の活性化によりシームレスな医療の促進を目指しています。インフォームドコンセントの充実を目的に三次地区医療センターと連携を図り、患者家族の理解を得ながら個々の目標を明確化します。さらに、診療の標準化や共有記録の活用により、リハビリやケアの継続性を重視しています。

自宅から入院された方が対象になり、手術後2～4週間後で三次地区医療センターに転院し、三次地区医療センターでは12週以内で自宅退院できるようリハビリテーションを継続実施され、多職種で関わっていきます。

【過去3年間の実績】

・パス適用 2016年度：11名 2017年度：24名 2018年度：45名

●がん地域連携パス●

かかりつけの医療機関（連携医療機関）と計画策定病院（市立三次中央病院）が協力して、同じ診療方針の下に治療経過を施設間で共有しながら、より安全でより質の高い医療を提供することを目的にがん地域連携パスを活用しています。

がん地域連携パスでは、患者を中心に、医師・看護師・薬剤師等関係する全ての医療者が、検査結果や診療の方針を知った上で協力体制を作ります。

5大がん（胃、大腸、肺、肝臓、乳）が対象となっていますが、現状では外科的治療を受けられた胃がんと大腸がんの方が主な対象として運用されています。

連携医療機関の登録は、三次市14・庄原市2・安芸高田市1の計17病院です。

【過去3年間の実績】

・胃がん 2016年度：2名 2017年度：3名 2018年度：1名

・大腸がん 2016年度：5名 2017年度：3名 2018年度：7名